

平成 30 年 1 月 25 日 00362 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】北見市武道館感染予防月間(11月1日~4月30日)!

ウイルス感染予防のお知らせとご協力⑧! ノロウイルスは 100 個以下という少ない数でも感染症状を引き起こします。増殖スピードが速く、感染時は少ない数でも約 1 日の潜伏期間をすぎてその症状が現れる頃には、吐しゃ物や便の中には増殖されたウイルスが存在するようになり、最短 1 日(24 時間ほど)の潜伏期間で 100 倍以上にも増加するという恐ろしさがあります。日頃より「うがい・手洗い」を習慣づけて下さい。
北見地方剣道連盟 『平成 30 年鏡開き・初稽古会』を開催!



去る 1 月 14 日(日)に、北見市武道館第二道場にて、北見地方剣道連盟の『平成 30 年鏡開き・初稽古会』が開催されました。開催に先立ち、今年初めての行事ということもあり、床の雑巾掛けを行なって道場を清めました。鏡開きでは、市内各少年団の代表が日本刀を構え、元気な気合を発しながら一人一人鏡餅に振り降ろしていきました。最後に金子罔繁会長が一刀を餅に入れて締

めました。鏡開きは、その年の目標の成就と無病息災を願い、鏡餅を切り開き、いつまでもその思いを忘れぬように腹に収め、神に誓う行事です。年頭の挨拶では『剣連の会員の皆さんの健康と安全、そして目標達成に向けた心身の鍛錬を忘れることなく、会員相互が尊重し、切磋琢磨して活動していくことを期待しています。』とお話がありました。その後は「初稽古会」として、基本の稽古で体を温めた後、諸先生を元立ちにして指導稽古を行ないました。2 時間ほどの限られた時間でしたが、幼少年剣士からご年配、高段位者まで、老若男女約 100 名が、世代を超えて一緒に心地よい汗をかき、稽古を終え、今年 1 年のスタートを切ることができました。〈北見地方剣道連盟事務局文責:菊地次男〉

連載「武道宝鑑」第 16 弾 柔道秘訣 柔道教士七段 徳三宝『所感』

方今動もすれば世道人心を離れ軽佻浮薄の風滔々として質実剛健の風地を拂わんとする者が時々ある、徒らに外来思想に幻惑されて建国の大精神を亂だすが如きは国家として許すべからざる事である。回顧すれば吾人の祖先が治に居て亂を忘れず安に居て危を知り極寒寒熱にも武道の修行によりその心身を練磨し、一旦緩急あれば身を以て難に殉じ克く忠孝の大義名分を完うしたのは、これ武士道の精髓であって、天地もその至誠に感動し鬼神もその壮烈には泣いたのである。元來武道は我が國體と共に永遠なるべきものであって、國家を擁護して禍亂を未発に防ぎ一旦緩急ある場合は義勇公に奉じて、横暴を応懲・・・つづく